

半七捕物帳の思い出

岡本綺堂

青空文庫

初めて「半七捕物帳」を書こうと思いついたのは、大正五年の四月頃とおぼえています。そのころ私はコナン・ドイルのシャアロック・ホームスを飛び飛びには読んでいたが、全部を通読したことがないので、丸善へ行ったついでに、シャアロック・ホームスのアドヴェンチュアとメモヤーとレターンの三種を買って来て、一気に引きつづいて三冊読み終ると探偵物語に対する興味が油然と湧き起つて、自分もなにか探偵物語を書いてみようという気になったのです。勿論その前にもヒュームなどの作も読んでいましたが、わたしを刺戟したのはやはりドイルの作です。

しかしまだ直には取りかかれないので、更にドイルの作を獵つて、かのラスト・ギャリ―や、グリーン・フラグや、キャピテン・オブ・ポールスターや、ろはんものがたり 炬畔物語や、それらの短篇集を片端から読み始めました。しかし一方に自分の仕事があつて、その頃は『時事新報』の連載小説の準備もしなければならなかつたので、読書もなかなか撈取らず、最初からでは約一月を費して、五月下旬によく以上の諸作を読み終りました。

そこで、いざ書くという段になつて考えたのは、今までに江戸時代の探偵物語というものが無い。大岡政談や板倉政談はむしろ裁判を主としたものであるから、新あらたに探偵を主と

したものを書いてみたら面白かろうと思つたのです。もう一つには、現代の探偵物語をかくと、どうしても西洋の摸倣おちいやすに陥り易い虞おそれがあるので、いっそ純江戸式に書いたらば一種の変つた味のものが出来るかも知れないと思つたからでした。幸いに自分は江戸時代の風俗、習慣、法令や、町奉行、与力、同心、岡っ引などの生活に就ても、一通りの予備知識を持つていたので、まあ何とかなるだろうという自信もあつたのです。

その年の六月三日から、先まず「お文の魂ふみたましい」四十三枚をかき、それから「石灯笼」四十枚をかき、更に「勘平の死」四十一枚を書くと八月から『国民新聞』の連載小説を引受けなければならぬ事になりました。『時事』と『国民』、この二つの新聞小説を同時に書いているので、捕物帳はしばらく中止の形になっていると、そのころ『文芸倶楽部』の編輯主任をしていた森もり暁ぎょうこう紅こう君もとから何か連載物を寄稿しろという註文があつたので、「半七捕物帳」という題名もとの下に先ず前記の三種を提出し、それが大正六年の新年号から掲載され始めたので、引きつづいてその一月から「湯屋の二階」「お化師ばけししやう匠じやう」「半鐘の怪」
「奥女中」を書きつづけました。雑誌の上では新年号から七月号にわたつて連載されたのです。

そういうわけで、探偵物語の創作はこれが序じよびら開きであるので、自分ながら覚おぼつか束つかない

手探りの形でしたが、どうやら人気にかなったというので、更に森君から続篇をかけと注文され、翌年の一月から六月にわたってまたもや六回の捕物帳を書きました。その後も諸雑誌や新聞の註文をうけて、それからそれへと書きつづけたので、捕物帳も案外多量の物となつて、今まで発表した物語は約四十種あります。

半七老人は実在の人か——それについてしばしば問いあわせを受けます。勿論、多少のモデルがないでもありませんが、大体に於て架空の人物であると御承知ください。おれは半七を識^しつていたりとか、半七のせがれは齒医師であるとか、あるいは時計屋であるとか、甚だしいのはおれが半七であると自称している人もあるようですが、それは恐らく同名異人で、わたしの捕物帳の半七老人とは全然無関係であることを断つておきます。

前にもいった通り、捕物帳が初めて『文芸倶楽部』に掲載されたのは大正六年の一月で、今から振り返ると十年あまりになります。その『文芸倶楽部』の誌上に思い出話を書くにつけて、今更のように月日の早いのに驚かされます。

青空文庫情報

底本：「岡本綺堂随筆集」岩波文庫、岩波書店

2007（平成19）年10月16日第1刷発行

2008（平成20）年5月23日第4刷発行

底本の親本：「文芸倶楽部」

1927（昭和2）年8月号

初出：「文芸倶楽部」

1927（昭和2）年8月号

入力：川山隆

校正：noriko saito

2008年10月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

半七捕物帳の思い出

岡本綺堂

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>